

# 2018年（平成30年）度事業計画書

## I 2017年（平成29年）度事業の総括

平成29年2月に、福武純子理事長がご逝去され、6月役員会にて、松浦俊明理事長体制となったが、予定された財団事業は安定して遂行できた。

今年度初めて、贈呈式、贈賞式の教育、文化の合同開催を行った。参加者には好評であり、経費も有効に活用できた。より一層の教育、文化の融合が図れる手ごたえがあった。

調査研究事業として、先駆的事例を視察し、発表機会をもうけ、次年度事業への反映ができた。

財団の認知度を高めるため、積極的に外部と連携し、公募助成がより身近になるよう映像制作等広報活動につとめた。

事務局スタッフの戦力化のため、外部講師を招き、中長期の視点で業務執行の改善を行った。

## 2017年(平成29年)度の主な事業実績

### 公益目的事業 I 教育文化活動支援事業

#### 1 表彰事業

従来の別個の贈賞式を改め、初めて「教育文化賞贈賞式」と称して、教育賞、文化賞の同時開催を行った。贈賞式はJ-Hallで開催し、受賞者全員の発表をした。

##### (1) 福武哲彦教育賞及び谷口澄夫教育奨励賞

教育賞1件（橋本正巳/くらしき作陽大学子ども教育学部教授）

奨励賞3件（小倉理史/UNOICHI 実行委員会、熊谷愼之輔/岡山大学大学院教育学研究科教授、NPO 法人みる・あそぶ・そだつ津山子ども広場）

##### (2) 福武文化賞及び福武文化奨励賞

文化賞2件（青山融/岡山弁研究者、高月国光/木工芸作家）

奨励賞4件（大月ヒロ子/ミュージアムエデュケーションプランナー、中村智道/映像作家、浜田高夫/シネマ・クレール支配人、林正美/鬼ノ城塾長・阿曾の鉄師）

#### 2 助成事業

(1) 「教育活動助成」は、103件（前年115件）の応募があり58件（前55件）に総額1,200万円を助成した。昨年度までは、教育賞贈賞式と同時開催をしていたが、今期より教育・文化合同で実施。成果報告会と交流会（愛称：and Fフェス）では、一般の参加者も募り、400名超の参加者があった。

(2) 「文化活動助成」は、132件（前年145件）の応募があり、76件（3ヵ年継続助成7件含む。）に総額1,635万円助成した。上記にあるよう贈呈式は今期より教育助成と同時開催し、教育、文化関係者の交流拡大につながった。

(3) 「特定教育助成」「特定文化助成」は、事業計画において決定された団体に対し助成した。

対象：おかやま希望学園、岡山県私学協会、「がんばる若者支援」、「学力向上プロジェクト事業」4件（旧学力・人間力育成推進地区1件、学力向上プロジェクト事業3件）岡山県英語力向上支援事業岡山県文化連盟、先進的芸術家育成作品展（天神山文化プラザ）、岡山の美術活性化事業3件（県立美術館）、出石・国吉プロジェクト

(4) 「瀬戸内文化育成助成」は、瀬戸内の振興に寄与するプロジェクトや宇野港周辺の活性化を奨める「たまの☆おもてなし推進委員会」等の事業に対して助成した。（2019瀬戸内国際芸術祭開催時に、地元中高生が英語で外人客に案内できることを目的とした「たまのステューデントガイド企画」含む。）

【助成事業一覧】

(助成金 単位：万円)

事業内容	助成件数	助成金額
教育活動助成 (応募 103 件)	58	1,200
文化活動助成 (応募 132 件)	76	1,635
特定教育助成	13	1,167
特定文化助成	6	820
瀬戸内文化育成助成	9	360
公募助成に準じる緊急を要する等の助成	24	465
合計	186 地区・件	5,647 万円

### 3 研修会等開催事業

#### (1) 小学校特定英語研修

小学校英語教科化にむけて、市町村教育委員会が連携する教育研究団体等が実施する小学生および小学校教員を対象とした、英会話レッスンを中心とした研修（イングリッシュキャンプ、小学校教員英会話研修、小学生オールイングリッシュ研修等）に対して、必要な経費の1/2を助成した。

対象：総社市、笠岡市、備前市、矢掛町、中国学園

#### (2) 研修会・講演会開催

##### ① フォーラム

「ここに生きる、ここで創る」vol.7～地域からの教育再生～「教科書にはない教育の話をはじめませんか」を1月13日（土）に、J-Hallで開催した。（参加者約200名）

パネリスト：片山善博（元総務大臣）×柏原拓史（NPO 法人だっぴ代表）×藤井裕也（山村エンタープライズ代表）×原田謙介（Youth Create 代表理事）全員が岡山出身者、トークセッションでは西粟倉村の椅子を使い、交流会では、玉野商高生のつくる玉結び、岡山県産茶葉を使った瀬戸内茶や岡山の食材を提供した。

##### ② 教えて考えさせる授業普及推進セミナー

学力向上推進プロジェクトのフォローアップ研修として、7月29日に実施した。東京大学大学院市川伸一教授、植阪友理助教を講師に参加者50名。

### 4 調査研究事業

岡山県の子供たちの教育文化課題の解決や人間力向上のために以下のような活動を行った。

#### (1) 合同説明会への参加

県内3箇所（井原・津山・岡山）で行われた官民合同補助金説明会に参加。活動内容紹介を通じ、助成先候補団体・個人との相談機会をもち、現場情報の収集に努めた。

## (2) 先進的事例視察

次年度事業計画への反映等を図るため、視察を2件行った。

- ① 山口県周防大島（高齢化50%を超える島で10代に向けた「実践型キャリア教育」で企業家育成の事業を展開する。）
- ② エデュコレ〜多様な教育の博覧会〜（学校現場の中だけで解決できない様々な教育を先駆的に実施する団体活動報告会。立命館大茨木キャンパス内）
- ③ 視察報告会  
助成団体、一般を対象に勉強会・ワークショップ（and F 教室）を開催した。  
2月10日 川中大輔氏（ジブソップ 共育企画代表）30名参加  
2月18日 大野圭司氏（ジブソップ代表取締役）20名参加

## 5 「海の劇場」事業

「学校でひらく舞台芸術教室」（5～7月）を開催した。NPO法人アートファームに委託。昨年に引き続き、岡山市内の小串小学校（ダンス：白神ももこ氏）、朝日小学校（演劇：鳥の劇場）にてワークショップを行い7月13日に合同発表会を小串小学校で実施した。共に2年目の実施。終了後2校で教員にヒアリングし、成果と次年度への強い継続実施希望を確認した。

## 6 広報事業

財団の活動に対する認知や公募助成の周知をより高めるべく様々な施策を行った。

- ・ 県内合同説明会への参加（3地区）、県内市町村教育委員会等への巡回訪問
- ・ 新規に、YouTubeを活用して、財団の助成について（申請書の書き方等3部作）動画制作
- ・ 公募助成カティングシート掲示（イオン岡山通路）、山陽放送ラジオ出演（公募助成、フォーラム等）
- ・ 財団広報パネル、パンフレットを新規に作成
- ・ その他従来に引き続き、財団公式Webサイトの内容充実と月2回更新、財団広報誌「FUEKI」年3回発行、財団公式facebookによる情報紹介等

## 公益目的事業Ⅱ 国際的人材育成事業

### 1 日中青年交流研修事業

岡山県日中教育交流協議会のSTUDENT EXCHANGE事業で、岡山県の高校生14名が上海市訪問、上海市より15名の高校生が岡山を訪れ、学校授業や行事、ホームステイ等を通じて相互理解を深めた。岡山県日中懇話会の中国高校生受入事業は、本年度実施されなかった。

### 2 研修会等開催事業

年度当初、岡山県英語力向上支援事業と連携した研修会を大規模に開催する予定だったが、各種団体での個別実施となったため費用発生せず、予算未消化となった。

## 財団運営

### 1 理事会・評議員会

- 平成29年5月29日 書面決議による第1回理事会  
提案① 平成28年度事業報告及び決算の承認の件  
提案② 補欠評議員候補者の提案の件

- 提案③ 補欠理事候補者の提案の件
- 提案④ 役員報酬等支給規程の改正の件
- 提案⑤ 助成事業規程の改正の件
- 提案⑥ 平成 29 年度定時評議員会開催の件

○ 平成 29 年 6 月 17 日

(1) 定時評議員会

- 議案① 補欠評議員の選任の件
- 議案② 補欠理事の選任の件
- 議案③ 平成 28 年度事業報告及び決算の件
- 議案④ 役員報酬等支給規程の改正の件
- 議案⑤ 助成事業規程の改正の件
- 報告① 平成 28 年度助成事業の報告の件

(2) 第 2 回理事会

- 議案① 理事長・副理事長の選定の件
- 議案② 助成事業等審査委員会規則の改正の件
- 議案③ 株主としての権利行使承認の件
- 報告① 平成 28 年度助成事業の報告の件
- 報告② 代表理事等職務執行状況報告の件

○ 平成 30 年 1 月 14 日 書面決議による第 3 回理事会

- 提案① 平成 30 年度(2018 年度) 助成事業審査委員会委員の選任の件
- 提案② 評議員会開催の件

○ 2018 年(平成 30 年) 3 月 10 日

(1) 第 4 回理事会

- 議案① 特定費用準備資金の保有について「公募助成資金引当預金」
- 議案② 特定費用準備資金の保有について「周年事業資金引当預金」
- 議案③ 2017 年(平成 29 年) 度収支予算書の補正の件
- 議案④ 2018 年(平成 30 年) 度事業計画書・収支予算書の件
- 議案⑤ 育児・介護休業等に関する規則の一部改正の件
- 報告① 代表理事等職務執行状況報告
- 報告② 資金運用状況報告
- 報告③ 岡山大学への国吉康雄寄付講座の件

(2) 第 2 回評議員会

- 議案① 2017 年(平成 29 年) 度収支予算書の補正の件
- 議案② 2018 年(平成 30 年) 度事業計画書・収支予算書の件

## 2 事務局

- ・ 2017 年(平成 29 年) 4 月 1 日 平山竜美 参与就任
- ・ 2017 年(平成 29 年) 4 月 1 日から 野村泰介 勤務開始
- ・ 2017 年(平成 29 年) 12 月 15 日 岡山県立入検査(3 年に 1 度の定例)  
2018 年(平成 30 年) 1 月 9 日付検査結果通知「貴法人の運営は概ね適正であり、大きな問題は認められなかった」

## Ⅱ 2018年（平成30年）度事業の基本方針

設立以来昨年度までの累計31年間の助成金額は、15億円を超えたが、地域になくなくてはならぬ公益財団法人の実績を残してきた。

少子高齢化、グローバル化の進展といわれ久しいが、急激な人口減少社会への移行、AIの発展等、より変化の大きい不透明な時代をむかえる。

そのような変化の中でも、人々がよく生きるために、地域づくり、人づくりに貢献し、より一層充実した活動を推進し、あるべき姿を追求していきたい。

方針としては、以下の観点で2018年（平成30年）度の事業を推進する。

- (1) 教育、文化の振興を通じて、「地域づくり」「人づくり」を応援し、時代環境、行政事情、地域の現状等に対応したあるべき助成団体を目指す。
  - ・ 可能な範囲で、助成先へのフォローアップを行い、事例を通じて今後の活動にかせる蓄積や情報提供につとめる。
  - ・ 様々な関係先（行政、中間支援組織、他団体等）との情報交換、連携をより一層図る。
  - ・ 新たな助成申請が生まれるよう様々な取組みを行う。
  - ・ 前福武純子理事長の思いを受けた助成を始める。
- (2) 先駆的な取組みに対して積極的に支援する。
  - ・ 教育委員会等と連携した団体を対象に様々な英語関連研修、キャリア教育等の取組みの支援を行う。
  - ・ 先進的な事例、取組みを事業に取り入れられるよう視察研修等を積極的に行う。
- (3) 事業全体を通じた、教育・文化のさらなる融合を模索する。
  - ・ 昨年度から、教育賞、文化賞の合同贈賞式典として開催、また助成贈呈式も教育、文化あわせての開催とし、参加者の評判等手ごたえを感じた。
  - ・ 今年度は、事業全体について改めて見直し、より効果的な事業フレームにむけて変更申請を行い、来年度（2019年度）からは新事業フレームとする。
- (4) 公益財団法人としてふさわしい組織・財務体制の構築をさらに進める。

### Ⅲ 2018年(平成30年)度の事業計画

(単位：千円)

#### 公益目的事業Ⅰ 教育文化活動支援事業 (定款第4条1項第1号)

予算総額 169,890 (前年度当初147,751:共通経費を含む。)

##### 1 表彰事業 予算総額 7,170 (前年度当初7,000)

… 推薦数の増加を図りながら対象者を厳選。教育・文化賞の贈賞式典を一本化し、経費節減をしながら同時に発信力強化につとめる

###### (1) 福武哲彦教育賞及び谷口澄夫教育奨励賞

《目的》 岡山県の教育研究、実践に顕著な業績を上げている個人・団体及び今後が期待される個人・団体を顕彰する。特に教育を通じた地域振興への貢献を重視する。

《対象》 岡山県下の幼・保、小・中・高校、特別支援学校、専門学校の教職員・団体及びこれに準ずる団体、地域で活動する団体、個人

《推薦》 岡山県教育委員会、市町村教育委員会等教育関係団体、報道機関等からの推薦

《賞》 表彰状、賞牌及び副賞(本賞60万円、奨励賞30万円)  
教育賞は1件程度、奨励賞は3件程度

《選考》 選考委員会で選考し、理事現在数の2分の1以上の同意を得て理事長が決定

《予定》 5~6月 推薦受付、8月 選考委員会、11月 贈賞式(文化賞と同時開催)

###### (2) 福武文化賞及び福武文化奨励賞

《目的》 岡山県の文化の向上に大きく貢献した個人・団体及び今後が期待される個人・団体を顕彰する。奨励賞では若者の文化活動を通じた地域振興への貢献を重視する。また、贈賞式を見直し簡素化する。

《対象》 岡山県在住又はかかわりがあり、岡山県を始め全国、世界で文化的活動をしている個人・団体

《推薦》 岡山県、県教育委員会、市町村及び各教育委員会、報道機関等からの推薦

《賞》 表彰状、賞牌及び副賞(本賞60万円、奨励賞30万円)  
文化賞は1件程度、奨励賞は4件程度

《選考》 選考委員会で選考し、理事現在数の2分の1以上の同意を得て理事長が決定

《予定》 5~6月 推薦受付、8月 選考委員会、11月 贈賞式(教育賞と同時開催)

##### 2 助成事業 予算総額 73,260 (前年度当初70,115)

… 財団の根幹をなす事業として、更に事業内容の充実につとめる。教育、文化の贈呈式を同時開催し、効果的な発表と助成団体相互間の交流、連携が行われる取組みを行う。

特定教育助成では、新たに教育委員会等が中心となって行う先進的教育研修事業等への助成をもうける。また、特定文化助成では、多様な芸術文化鑑賞機会を支援する助成を開始する。

福武純子前理事長が岡山大学へ「地域に開かれた大学」になって欲しいと寄贈されたJホール、Jテラスが更に活用されるよう新たにJプロジェクト助成を新設する。

(1) 教育活動助成 (助成費予算額 17,820)

《目的》 教育による人づくり・地域づくりを応援し、地域が活性化することを期待し、教育に関する有意義な実践活動等を助成し、学校教育及び地域の教育振興に貢献する。

■ 地域で子どもたちを育む活動

子どもたちの健やかな育ちと社会への参画意識を応援する活動

■ 子どもたちの「確かな学力」を育む活動

学ぶ意欲、知識・理解や技能、思考力・判断力・表現力、問題解決野力等を育てる活動

■ グローバル意識の育成や望ましい職業観を醸成する活動

将来の夢や希望を持ち、世界や国際社会で活躍できる子どもを育てる活動

《対象》 岡山県内の地域団体又は個人、教職員グループ 等

《助成額》 原則1件当たりの上限は30万円

《期間》 2018年(平成30年)度中に実施する事業。

《審査》 審査委員会で審査し、理事現在数の2分の1以上の同意を得て決定

《予定》 12~1月 申請受付、3月 審査委員会、4月 事業開始

9月 贈呈式・成果報告会・交流会(文化助成贈呈式と同時開催)

(2) 文化活動助成 (助成費予算額 19,160)

《目的》 文化芸術による地域の活性化を目指す次の3部門の活動に助成する。

■ 伝統文化振興部門

地域に継承されてきた伝統的な文化や郷土の歴史の掘り起こし・保存・伝承、普及・後継者の育成などにかかわる活動や調査研究を支援することによって、伝統文化の振興と地域の活性化に貢献

■ 文化芸術活動部門

文化芸術の発展向上を図る活動や、地域社会に文化芸術を展開・普及する活動、担い手となる人材の育成などにかかわる活動を支援することによって、岡山県の文化水準を高めるとともに地域の活性化に貢献

■ 地域文化創造部門

地域に存在する資源や社会活動を活かしながら、新たな文化的価値を地域に付加し創造しようとする活動(文化芸術によるまちづくり、青少年育成、環境、福祉、国際交流などの活動を含む)や調査研究を支援することによって、地域の活性化に貢献

《対象》 岡山県内で、文化活動を行っている個人・団体。ただし、学術研究、単なる趣味や同好の活動・調査は除く。原則として社会人

大学等が地域文化振興を目的として地域と連携して行う研究、実践活動は積極的に支援する。

《助成額》 原則1件当たりの上限は30万円

《期間》 2018年(平成30年)度中に実施する事業

なお、2009年(平成21年)度に設けた「3ヵ年継続特別枠」は、毎年8団体を指定する。

《審査》 審査委員会で審査し、理事現在数の2分の1以上の同意を得て決定

《予定》 12~1月 申請受付 3月 審査委員会 4月 事業開始

9月 贈呈式・成果報告会・交流会(教育助成贈呈式と同時開催)

(3) 特定の特色ある活動に対する助成

① 特定教育助成 (助成費予算額 18,280)

今日的教育課題について実践的かつ先進的な活動を行っている教育団体等に対して助成する。

7) 学校法人おかやま希望学園への助成 (2,500)

既存の学校になじみにくい子どもたちのために設立された学園の運営と研究活動を支援

4) がんばる若者支援 (2,000)

社会教育、生涯教育等の分野で、地域の NPO 法人、大学生等が行政、保護者等と連携し、効果的なキャリア教育等を実施し、子どもたちの地域への関心を深めるワークショップ等の開催を支援する。(平成 28 年度から福武純子前理事長の思いを受けスタートした支援だが、今期は前年 1,385 千円より増額)

~~4) 岡山県私学協会への助成 (0)~~

今年度より私学協会への助成は実施しない。前年度踏襲で、私学振興事業として行う教員の研究及び研修などの経費を継続助成(昨年度 1,000 千円)してきたが見直した。

**変更 4) 岡山県英語力向上事業支援 (8,780)**

県下で行われる様々な英語力向上に関する取組み事業に助成をする。

・ 中学校英語 4 技能育成研究事業への助成

教育委員会が中心となって、県内の複数地域に指定校を設置し、県内中学 3 年生を対象にした英語 4 技能育成研究事業への助成を昨年に引き続き実施する。

上記以外にも、希望する市町村教育委員会に対して、関連費用の 1/2 を助成する。

《対象》 新見市、赤磐市

・ 英語力向上につながる各種研修への助成

市町村教育委員会が連携する教育研究団体や大学等が実施するイングリッシュキャンプ、英会話語学レッスン、イメージ教育等の研修に対して、必要な経費の最大 1/2 を助成する。《対象》 総社市、笠岡市、備前市、矢掛町、中国学園 他

**新規・ たまのステューデントガイド事業への助成**

玉野市教委、たまのおもてなし協議会が中心となり岡山大と連携し、英語をツールとし宇野港周辺の地域の魅力を学びつつ、瀬戸芸 2019 には中高生等が英語でガイドできることを目指した新しい研修の実施に助成する。

**1) 先進的教育プログラム助成 (5,000)**

教育委員会等と連携した団体が行う先進的な教育プログラム等の取組みに助成する。

・ 学力向上プロジェクト地区助成：笠岡市学力向上進委員会(3 年目：笠岡市教委内)

**新規・ モデル地区への ICT 関連実施事業等への助成**

**新規・ 生涯教育、社会教育等の先進的研修助成** (だっぴワークショップ実施希望中学を想定)

**② 特定文化助成 (助成費予算額 7,400)**

7) 岡山県文化連盟の出前講座事業に助成 (1,200)

4) 岡山県天神山文化プラザで開催される先進的芸術家育成作品展等を助成 (2 回 1,000)

4) 岡山県立美術館が中心となって行う優れた作品の展覧会等への助成 (複数回 2,000)

1) 出石・国吉プロジェクト助成 (1,000)

国吉祭に関連した活動への助成

4) 「岡山の文化財」発刊プロジェクト (1,000)

当初平成 26 年度～28 年度 3 ヶ年の発刊助成で、2 分冊は発刊済だが、3 分冊目の編集に時間を要し延期したため、今期の事業となった。

**新規4) 多様な芸術文化鑑賞支援 (1,200)**

将来的な岡山の芸術文化振興につながる様々な文化芸術の公演やワークショップ等に児童や学生が参加するために係る費用の一部を助成する。



③ 瀬戸内文化育成助成 (助成費予算額 4,000)

瀬戸内文化の育成、創出のために必要なプロジェクトに対して助成する。

ア) 瀬戸内国際芸術祭に関係する文化・芸術事業への助成

次回 2019 年 4 月開催に向けて、前年での効果的な広域連携事業等。岡山シテイミュージアムで開催の国吉康雄展(4月～5月)を含む。

イ) その他沿岸市町村から推薦のある瀬戸内文化育成プロジェクト等に対する助成

新規④ Jプロジェクト助成 (助成費予算額 1,000)

前理事長である福武純子氏が岡山大学へ寄贈した岡山大のJホール、Jテラスには、「地域に開かれた大学に」という思いがこめられていた。シンボリックなこの建築が、より有効に活用される様々な活動へ助成する。

(4) 公募助成に準じる緊急を要する等の助成 ～その他助成～ (助成費予算額 5,500)

年度途中で申し出のある緊急を要する教育文化活動に対して助成する。

原則として公募助成の限度額 30 万円を上限とする。

- (例)・ 表彰による受賞者(奨励賞)の公演、講演会等の開催、出版等(叢書を含む)。  
・ 公募助成に応募できなかったことに理由があり、かつ、その活動の内容が公募助成の対象となった団体等と比較して明らかに優れているもの

3 研修会等開催事業 予算総額 3,000 (前年度当初 3,501)

① フォーラム開催 (1,200)

第8回目の開催となる財団フォーラムは、1月に地域で活動する著名な有識者等を招き、今後の財団活動の指針となる講演会等を開催し、更なる財団の発信力強化につなげ、参加者の交流を同時に図る。

新規② and F 教室(仮称) (1,300)

助成先団体に共通する課題(運営、基盤等)解決につながる実践的なセミナーの実施を複数回行う。

③ 教えて考えさせる授業 in おかやま (500)

「教えて考えさせる授業」の指導理論の学習や授業実践の研修を通して、教師の指導力向上に資する機会にする。(委託先: 教えて考えさせる授業研究会)

4 調査研究事業 予算総額 1,000 (前年度当初 500)

岡山県の子どものための教育文化課題の解決や人間力向上のために必要な調査研究等の中長期の視点で行う。特に先進的事例等の視察や報告会を実施する。

## 5 主催公演事業 予算総額 5,520 (前年度当初 2,310)

### ①「海の劇場」事業 (3,010)

小規模校（岡山市立小串小学校、朝日小学校、馬屋上小学校）にアーティスト（ダンス、演劇）を派遣して子どもたちと創作活動を行う「学校でひらく舞台芸術教室」を実施する。  
NPO 法人アートファームに委託するものとする。

### 新規②「新岡山のいろ・かたち」事業 (2,510)

岡山から全国、世界に発信できる芸術文化の公演を行う。岡山の誇れる文化や芸術、またそれらが交流連携した新たな魅力が発信される公演機会を年に 1 回、J ホールで提供する。

## 6 広報事業 予算総額 11,000 (前年度当初 9,030)

従来より継続している財団公式 Web サイトや財団公式 facebook を活用した日常的な発進力強化を図り、財団事業の積極的な広報および存在意義を周知する。瀬戸内国際芸術祭 2019 開催の前年度としての広報も行う。

## 7 30周年記念事業 予算総額 10,500

1986 年に設立された当財団の 30 周年記念事業として、2015 年後期から 2017 年度末まで、2 年半にわたり岡山県の教育文化の振興に寄与する事業として、岡山大学教育学部に設置される「国吉康雄を中心とする美術鑑賞教育研究講座」にかかる費用の一部を助成金として負担した。

その間の活動が学内外から相当の評価があったため、継続助成に値すると判断し、さらに本年度より 3 ヶ年の継続助成を行う。

従来と同額で年間 1,050 万円の助成。昨年度までは、2 種類の助成を組み合わせていたが、本年度より一括する。（昨年度までは 30 周年記念事業として 750 万円、特定文化助成「出石・国吉プロジェクト助成」の年額 300 万円と分類していた）

## 公益目的事業Ⅱ 国際的人材育成事業 (定款第 4 条 1 項第 2 号) 予算総額 2,381 (前年度当初 3,117 : 共通経費を含む。)

国際的に活躍するグローバルな人材を育成するための事業を推進する。

### 1 日中青年交流研修事業 予算総額 1,001 (前年度当初 501)

岡山県および中国の高校生が相互に訪問交流し、学校授業や行事、ホームステイ等を通じて相互理解と友好を深める事業に対して助成する。従来にもまして、個人的な経験が広く周知される機会も事後提供される。（岡山県日中教育交流協議会及び岡山県日中懇話会）

### 2 研修会等開催事業 (予算は上記中で実施)

海外に視野を広げるよう促し国際的な人材に育成するため、自治体や教育委員会、各種団体との連携協力のもと、外国語体験研修等の実施を検討する。

### 3 広報事業 (予算は上記中で実施)

国際的人材育成事業の成果を周知するための広報を行う。

※ 2019 年度より公益目的事業Ⅰ、Ⅱを、統合することとして、2018 年度に変更認定申請の手続きを検討する。